令和6年度　第2回　学校運営協議会

令和６年６月 25 日(火)

１　日程説明（於：校長室）　　１４：３０～１４：３５

２　授業参観 ※６校時(火５)　14:05～14:55　　１４：３５～１４：５５

学　級	教　科	指　導　者	教　室
１年１・２組	総合	小林雅樹　來住訓世 鈴木孝之	１年１組教室
２年１組	総合	稲垣匡紀　西尾隆広	２年１組教室
３年１組	総合	藤井茉里菜　山田真史	３年１組教室

（於：校長室）　　１５：００～１６：００

３　開催要件確認
４　会長あいさつ
５　校長あいさつ
６　議長の選出
７　前回会議録確認
８　報告
　・学校行事について
９　熟　議
　(1) 参観の様子
　(2) 総合的な学習の時間について

10　その他
　・中体連浜松地区大会日程

　・今後の運営協議会予定
　　第３回　１１月２６日(火)１４：３０～
　　（今後の支援について　等）
　　第４回　　２月１４日(金)１５：００～
　　（学校評価・CS 自己評価・R7 年度学校運営方針　等）

　・部活動参観（自由参観）１６：００～

令和６年度　第１回　学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開催日時　　令和６年４月１９日（金）　　１４時３０分～１６時１０分まで

２　開催場所　　春野中学校　校長室

３　出席委員　　鈴木　誠、児玉順子、市川相寿、正久幸廣、山下尚美、三浦徳志

４　欠席委員　　森下廣隆

５　学　　校　　北野昌宏（校長)、沖田　暁（教頭)、清水悦子（CSﾃﾞｨﾚｸﾀｰ）

６　傍 聴 者　　なし

７　会議録作成者　　清水悦子（CSﾃﾞｨﾚｸﾀｰ）

８　議長の選出
司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、市川委員から立候補があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した

９　協議事項
（１）本年度の学校経営構想・教育課程について(学校経営書ほか)
（２）授業参観を通して生徒の様子
（３）夢育やらまいか事業に対する意見書（春野PR活動について）

10　会議記録
・沖田 暁 教頭から、委員総数７名のうち６名の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

（１）本年度の学校経営構想・教育課程について(学校経営書ほか)
・議長の指示により、北野昌宏 校長 から別紙に基づき、学校運営基本方針についての説明があった。
・学校教育目標である「春野を誇りとし、自他を認め、成長する生徒」を目指していきたい。
・確かな学力(知)　豊かな感性(徳)　健やかな心身(体)を目指す生徒像の運営を図りたい。
・いじめの未然防止に努めていきたい。

・北野昌宏校長の説明により、春野中学校の学校運営基本方針について、全員異議なく承認した。

（２）授業参観を通して生徒の様子
・授業参観後、委員から以下の発言があった。

●1 年生も学校になじんでいる。子供のよさを生かした指導で生徒が生き生きとしていた。学校・地域・家庭のそれぞれが同じ方向を向いて一体となって育てていくことが大事だと感じた。 (児玉委員)

●自己表現が弱い子がいるので、自分の意見が言える、自己主張のできる生徒に育ててほしい。 (正久委員)

●失敗することを恐れず、自信をもって発言のできる教育をしてほしい。
昔と比べ子どもとの関わり方、導き方が少なくなっている気がするので、保護者と連携できる機会も必要ではないかと感じている。 (山下委員)

（3）夢育やらまいか事業に対する意見書（案：春野ＰＲ活動について）

・議長の指示により、沖田 暁 教頭より、夢育やらまいか事業に対する意見書についての説明があった。

○その他　連絡事項等

今後の予定(学校運営協議会)

第２回　令和６年　６月２５日（火）１４時３０分～
(秋輝祭・黎明祭について、総合的な学習の時間について　等)

第３回　令和６年１１月２６日（火）１４時３０分～
(今後の支援について　等)

第４回　令和７年　２月１４日（金）１５時００分～
(学習評価・ＣＳ自己評価・R7 年度学校運営方針　等)

蒼天祭の実施について

担当　特別活動主任

1 ねらい

・ 特別活動の協力の場、助け合いを中心とした生徒相互の結束の場、教師と生徒の信頼を深める場とする。
・ 「地域の人に元気を運ぶ春中生」の具体的な発表の場として、保護者や地域の人へ発表の一場面とする。

2 日 時

令和6年11月2日(土) 9:00～16:00(予定)

＊雨天の場合は、4日(月)に順延となります。

3 蒼天祭スローガン

未 定

※ 今後募集を行い、決定していきます。

4 蒼天祭運営組織

蒼天祭実行委員長(木下　雅)

総　務
蒼天祭実行委員長(正・副)2名 ・ 前期生徒会執行部(5名)
企　画
蒼天祭実行委員(各学年2名)

運　営

☆体育的活動の部, 文化的活動の部

・ 蒼天祭実行委員会　… スローガン, ポスター, 開閉会式の進行, 賞状準備
　合唱リーダー, 当日の運営(司会等)
・ 前期生徒会執行部　… 生徒会種目, 掲揚台, 聖火関係
・ 情報委員会　… BGM, 放送原稿作成, 当日アナウンス
・ 生活委員会　… 招集, 発走, 本部記録用紙記入, 得点板関係, 着順
・ 衛生委員会　… 用具準備, 出発合図, 環境整備, 案内板

5 実施内容

☆ 文化的活動の部(AM)

・学習成果発表(総合的な学習の時間, 少年の主張, 英語スピーチ　等)
・学年合唱
・全校合唱
・縦割り合唱

☆ 体育的活動の部(PM)

・徒競走　　・玉入れ
・借り物競走　　・生徒会種目
・紅白対抗綱引き　　・紅白対抗リレー
・春中ソーラン

※文化展示については今年度も実施を行う、開放時間については未定。
文化展示の例:各教科の作品(書写,美術等)　総合的な学習の時間のまとめ
有志展示(写真, イラスト, 詩, プラモデル, クラフト等)

6 その他

・記載内容については、状況に応じて変更になる可能性があります。

令和６年度　２年生　職場体験学習実施計画書

１　目　的

・職場体験学習を通して、一人一人が自らの生き方を主体的に考える。
・働く人々とのふれあいを通して、働くことの意味を考える。
・校外での活動を通して、時と場に応じた行動（社会性）や自主性を身に付ける。
・郷土愛を育む。

２　体験場所候補

職場体験場所	住所　電話番号	人　数
ヤマザキショップ(ひおき)	気田 526-1　989-0074	
いっ久	宮川 1768　080-2634-4822	
森下晴美商店	気田 1752-1　989-1170	
犬居幼稚園	堀之内 989-1　985-0821	
気田幼稚園	気田 624　985-0017	
気田小学校	気田 603-1　989-0044	
犬居小学校	堀之内 9331　989-0201	
山ちゃんファーム	堀之内 128　985-0128	
春野森林組合	宮川 1481　989-0185	
後藤モータース	領家 167-1　985-0519	
気多郵便局	気田 851-2　989-0001	

３　日　時　　令和６年１０月２日（水）、３日（金）　午前９時から午後３時

４　日　程

８：１５自宅出発－８：４５体験場所到着－９：００職業体験（昼食含む）－１４：４５体験終了－１５：００体験場所出発－１５：３０自宅到着（学校到着）

※２日間ともに現地集合。体験終了後は自宅に帰り、帰宅後、全員学校へ無事帰宅したことを電話連絡（９８９－００２３）をする。

※両日、部活動なし。

※事業所への往来はスクールバスと保護者の迎えで対応。

５　その他

・マナーや礼儀等について事前指導をする。（マナー講座を実施）
・学年職員が生徒の訪問先を巡回し、見届けをする。
・活動中、生徒の過失による損害賠償責任が生じた場合、賠償責任保険にて対応する。
・終了後は、体験場所へお礼状を書く。学んだことをまとめ、総合の時間に発表する。

○春野町内で、一人一事業所となるようにしたい。

（体験先候補）

・くまの親子　　・本多屋菓子舗　　・月花園　　・マックスバリュー

・ガソリンスタンド　　・リバーサイド・カフェ　・大原屋　　・農協　　・春野支所

文部科学省　山梨県教育委員会

参加方法
会場参加　Web視聴
いずれも無料

地域とともにある学校づくり推進フォーラム2024山梨

学校と地域で高め合おう！子供・教師・家庭・地域のウェルビーイング
～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組を通して～

日時

令和6年7月13日(土)

サブプログラム　10:30～12:00（受付 10:00 開始）
メインプログラム　13:00～16:30（受付 12:15 開始）

会場

山梨県立文学館・山梨県立美術館
（山梨県甲府市貢川1-5-35）　（山梨県甲府市貢川1-4-27）

対象者

学校管理職・教職員、行政職員、学校運営協議会委員、
地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター、学校評議員、
学校支援ボランティア、保護者、地域住民や自治会・PTA・企業団体等、
地域と学校の活動に関わっている全ての方

第4期の教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）では、総括的な基本方針の１つとして、「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられ、子供たち一人一人が幸福や生きがいを感じられる学びを保護者や地域の人々とともにつくっていくことで、学校に携わる人々のウェルビーイングが高まり、その広がりが一人一人の子供や地域を支え、更には世代を超えて循環していくという在り方が求められています。これには、保護者や地域住民等が学校運営に当事者として参画するコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と地域住民等の参画により地域と学校が連携・協働する地域学校協働活動の一体的な取組が大きく関わります。

参加者が、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組は、学校運営の強化、学校の教育目標の実現はもとより、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進めるために欠かせないものであることを理解するとともに、日本社会に根差したウェルビーイングの向上にも資するものであることを認識し、当事者として、実効性ある取組を進めることを目指し、本フォーラムで共に学び合いましょう。

［主催］
文部科学省、
山梨県教育委員会

［後援］
全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県教育委員会連合会、全国市町村教育委員会連合会、指定都市教育委員会協議会、
全国都市教育長協議会、中核市教育長会、全国町村教育長会、全国コミュニティ・スクール連絡協議会、公益社団法人日本PTA全国協議会、
一般社団法人全国高等学校PTA連合会、公益社団法人 全国子ども会連合会、山梨県市長会、山梨県町村会、山梨県市町村教育委員会連合会、
山梨県都市教育長会、山梨県町村教育長会、山梨県PTA協議会

開会行事　13:00～13:20　会場：文学館（講堂）

1. オープニングムービー
2. 主催者挨拶
3. 来賓挨拶・紹介

行政説明　13:25～13:50　会場：文学館（講堂）

講 演　13:50～14:20　会場：文学館（講堂）

講演者　**内田 由紀子** 氏
京都大学 人と社会の未来研究院 教授・中央教育審議会委員

演　題　**「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」**

サブプログラム　10:30～12:00

CS マイスター相談会

対象　**学校管理職・教職員、行政職員など**

内容　**テーマごとに分かれてのミニ講義、相談**

テーマ：導入準備（行政、義務教育、高校・特支）
３権限、熟議、CSポートフォリオ

ワークショップ・熟議体験

対象　**地域学校協働活動推進員など**

内容　**ミニ講義、ワークショップ**

それぞれ定員60名（先着順※）

※定員に達しましたら、締め切らせていただきます。
※参加者の決定はメールにてお知らせいたします。

分科会　14:40～16:10

※Web配信は第１分科会のみです。

※発表タイトルは、現時点のものです。

第1分科会　義務教育段階　会場：文学館（講堂）

発表者 深澤 秀興 望月 昭三	昭和町立押原小学校 校長 昭和町立押原小学校学校運営協議会委員・押越区 区長	令和の日本型「自分たちの“まち”の私たちの小学校」づくり ー地域と連携・協働した教育課程の実現に向けてー
発表者 小川 真悟	高知市立春野中学校 校長	「地域とともにある学校」の体制の構築
発表者 金山 滋美 泉澤 太	八王子市立松木中学校学校運営協議会 会長／八王子市学校運営協議会情報連絡会 代表 八王子市立松木中学校 校長	子どもたちの未来を支える両輪の活動を目指して ～八王子市立松木中学校と八王子市の取組～

助言者　**齋藤 博伸**　文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
竹原 和泉　文部科学省 CSマイスター（特定非営利活動法人まちと学校のみらい 代表理事）

第2分科会　高等学校　会場：文学館（研修室１・２・３）

発表者 廣瀬 志保 山本 憲一	山梨県立笛吹高等学校 校長 山梨県立笛吹高等学校学校運営協議会 会長	社会に開かれた教育課程の実現に向けて ～笛吹コミュニティ・スクールの推進～
発表者 土方 清裕	新潟県立津南中等教育学校（元三重県立飯南高等学校 校長）	生徒の「やりたい」を学校を含む地域社会全体で支える
発表者 俵谷 俊彦 宇井 直樹	北海道札幌国際情報高等学校（前北海道鹿追高等学校） 校長 鹿追町教育委員会 学校教育課長	「鹿追創生アカデミア」。それが目指す姿なのです。

助言者　**加藤 智**　文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
香山 真一　文部科学省 CSマイスター（岡山県青少年教育センター閑谷学校 所長）

第3分科会　特別支援学校　会場：美術館（講堂）

発表者 中村 知佳 雨宮 清貴	山梨県立ろう学校 校長 山梨県立ろう学校学校運営協議会 副会長（創造工房くわの家 施設長）	地域とともに歩む特別支援学校づくり ～幼児児童生徒の自立を図る～
発表者 浅水 啓一郎 平出 哲朗	宮城県立支援学校女川高等学園 校長 宮城県立支援学校女川高等学園 防災主任	地域資源を活用した教育活動の実践 ～地域とともに学ぶ防災教育の取組～
発表者 林 麻佐美	神奈川県立えびな支援学校 校長	「切れ目ない支援部会」での取組を通して ～地域との連携、そして地域貢献へ～

助言者　**菅野 和彦**　文部科学省初等中等教育局 視学官
横澤 孝泰　文部科学省 CSマイスター（神奈川県教育委員会サポートオフィス 所長）

閉会行事　16:20～16:30　会場：文学館（講堂）

山梨県立笛吹高等学校　授業見学デー

7月12日（金）
主催：山梨県教育委員会

日程・申込方法等の詳細については、
フォーラム参加申込者宛に後日お送りするメールをご確認ください。

今後の開催予定

全国コミュニティ・スクール研究大会in金沢
地域とともにある学校づくり推進フォーラム2024金沢
【日時】令和６年11月8日（金）
【場所】石川県金沢市　【会場】金沢市文化ホール

参加申込

参加方法
会場参加　Web視聴
いずれも無料

【申込期限】
令和6年
7月8日（月）

※会場の定員の関係で、期限前に申込を締め切ることもあります。

右記の二次元コード
もしくはURLから申込ください。
https://forms.gle/fGJawziy34w4Q5TVA

メールにて、開催日の3日前を目途に、資料と視聴方法をお送りします。

問 株式会社ユーティーワイ企画
☎055-235-7666　✉event@utyad.jp

※Web視聴の際、接続不具合についての問い合わせには、対応いたしかねます。

※プログラムは、今後変更になる可能性があります。

令和７年度　春野中学校　総合的な学習の時間　全体計画

【校区の目指す子ども像】
春野を誇りとし、夢や希望に向けて、粘り強く努力する子

【地域の実態】
○豊かな自然に恵まれ、生徒がのびのびと成長できる環境にある。人口減少や少子高齢化は進んでいるが、保護者や地域の方々の、学校教育に対する姿勢はとても協力的であり、生徒への期待度は高いと感じられる。かつては王子製紙が建設されたり、宝塚歌劇団の歴史を築いた白井鐵造氏や日産フェアレディＺの生みの親である片山豊氏の出身であるなど、地元の学習にも素材が多い地域である。

【学校の教育目標】
「春野を誇りとし、自他を認め、成長する生徒」
～切磋琢磨～

【総合的な学習の時間の目標】
探究的な見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 地域の人，自然，歴史に関わる探究的な学習の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに，地域の特徴やよさに気付き，それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
(2) 地域の人，自然，歴史の中から問いを見出し，その解決に向けて仮説を立てたり，調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに，考えたことを，根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
(3) 地域の人，自然，歴史についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え，自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

【生徒の実態】
○礼儀正しく、規律ある生活ができる。
○素直で明るく、学年、男女問わず仲が良い。
●主体的に行動することが苦手である。
●向上心に乏しい
●自分の考えを言えない生徒が多い。

【保護者・地域の願い】
○思いやりのある子
○集団生活ができる子
○我慢強い子
○あいさつができる子
○自分の考えが言える子

【内容】＜目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力＞

学年		第１学年（５０時間）	第２学年（７０時間）	第３学年（７０時間）
R6 テーマ		「ふるさと春野を知ろう」	「職業を知ろう」	「福祉学習」「進路学習」
R7 テーマ案		**春野の魅力を知り、発信しよう**	**春野を知ろう～職業の視点で～**	**誰もが過ごしやすい春野を作ろう ～福祉の視点で～**
探究 課題		地域の人、自然、歴史の魅力とそれらを伝える人々	地域で育まれた様々な産業や施設、およびそれらに関わる地域の人々	福祉に携わる施設や人々および、町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	・春野出身の功績を残した人々とその活躍、自然の壮大さや特産物、春野に関わる歴史が分かる。 ・地域の人、自然、歴史と、自分との関わりが分かる。 ・目的に応じた情報を収集するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	・地域で育まれた産業や施設が分かる。 ・地域の産業や施設と自分との関わりが分かる。 ・情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	・福祉に携わる人々の思いや願いが分かる。 ・福祉と自分との関わりが分かる。 ・情報から読み取った考えを具体化するなど，探究の過程に応じた技能を身に付けている。
	思考力，判断力，表現力等	課題の設定	・自分たちを取り巻く社会に広く目を向けて，活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見出している。 ・解決の方法や手順を考え，見通しをもって計画を立てている。	
		情報の収集	・目的に応じて手段を選択し，情報を収集し適切な方法で蓄積している。 ・他者の意見や課題解決の方向性から，必要な情報を取捨選択している。	
		整理・分析	・問題状況における事実や関係を把握し，分類して多様な情報にある特徴を見付けている。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え，視点を定めて多様な情報を分析している。	
		まとめ・表現	・調べたり考えたりしたことをまとめ，相手や目的，意図に応じて論理的に表現している。 ・国語科や外国語科等で身に付けた技能を活用して表現している。	
		振り返り	・学習の仕方や進め方を振り返り，学習や生活に生かそうとしている。 ・振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り，次の活動に生かそうとしている。	
	学びに向かう力，人間性等	主体性	・自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	
		協働性	・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	
		自己理解	・探究的な活動を通して，自分の生活及び地域との関わりを見直し，自分の特徴やよさを理解しようとしている。	
		他者理解	・探究的な活動を通して，異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。	
		社会参画	・探究的な活動を通して，進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに，積極的に地域の活動に参加しようとしている。	

【学習活動】
・地域の実態，生徒の実態を踏まえ，探究課題を設定する。
・地域の人，自然，歴史を生かした学習活動を行う。
・学習成果を表現する場を設定する。

【指導方法】
・生徒の課題意識を連続，発展させる支援と工夫を行う。
・個に応じた指導の工夫を行う。
・体験活動を重視する。
・各教科等との関連を重視した指導を行う。
・言語により整理分析したり，まとめ表現したりする学習を重視する。
・協働的な学習を充実させるため，思考ツールを積極的に活用する。

【指導体制】
・学年での指導を基本とするが、学習成果発表では、全校での活動とする。
・運営委員会における校内の連絡調整と指導体制を確立する。
・ワークショップ研修を重視する。

【学習評価】
・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。
・個人内評価を重視する。
・指導と評価の一体化を充実する。
・授業分析による学習指導の評価を重視する。
・期末，学年末には指導計画を評価・改善し，次年度の計画に生かす。

【各教科等との関連】

各教科等	道徳教育	特別活動
・学ぶ意欲と傾聴する力の向上 ・探究的な学びの素地を養う ・協働的な学習場面の設定	・道徳科の時間を要として，思いやりの心を育む ・指導の重点項目　「真理の探究，創造」「思いやり，感謝」「社会参画，公共の精神」「相互理解，寛容」	・集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する。 ・合意形成や意思決定できるようにする。 ・役割を分担して協力して実践する。

【小学校との連携】

【近隣の小学校との連携】
・小学校で育成された資質・能力の系統性を確認する。
・小学校での学習内容を確認する。